

## ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	マイ好奇心探究コース			訪問国	英国
学校名	静岡県立沼津東高等学校	氏名	大川大和	学年	二年

留学テーマ 県による国際交流と「紳士の国」から学ぶけん玉道の発展

### ● 留学前

私はけん玉を3歳の時から続けている。幸運にも仲間や家族に恵まれたおかげで、日本一を3回、ギネス世界記録を3回とっている。私の大事なアイデンティティである。けん玉は、手に取りやすく、場所も選ばない。誰とでも繋がることのできるコミュニケーションツールでもある。

3度目の日本一は、中学3年の1月。進路のこともあって思考も変わった。

「上手いだけじゃダメ。けん玉を通じて、何か伝えたい。」

そんななか、「トビタテ！留学 JAPAN」を見つけた。はじめは、とにかくけん玉を広めたい！という単純なものだった。しかし計画書を書く過程で深く考えざるを得なくなった。そして、思いを巡らせていくうちに、より良い世の中のためになるかどうかということが広めるその先にあるとわかった。そこで、「けん玉の普及発展を通じて、より良い社会に貢献する」をテーマに据えることにした。例えば、「音楽」は国境も言語も超えて人の心を豊かにしてくれる。「けん玉」も同様なツールではないのか、ということだ。

けん玉体験会をロンドンで開くという目標を立て、そのための教材プリントもチラシも、英語で作成した。日本けん玉協会の機関誌「けん玉通信」も調査し、けん玉普及活動の記事を読んで学んだ。

### ● 留学中



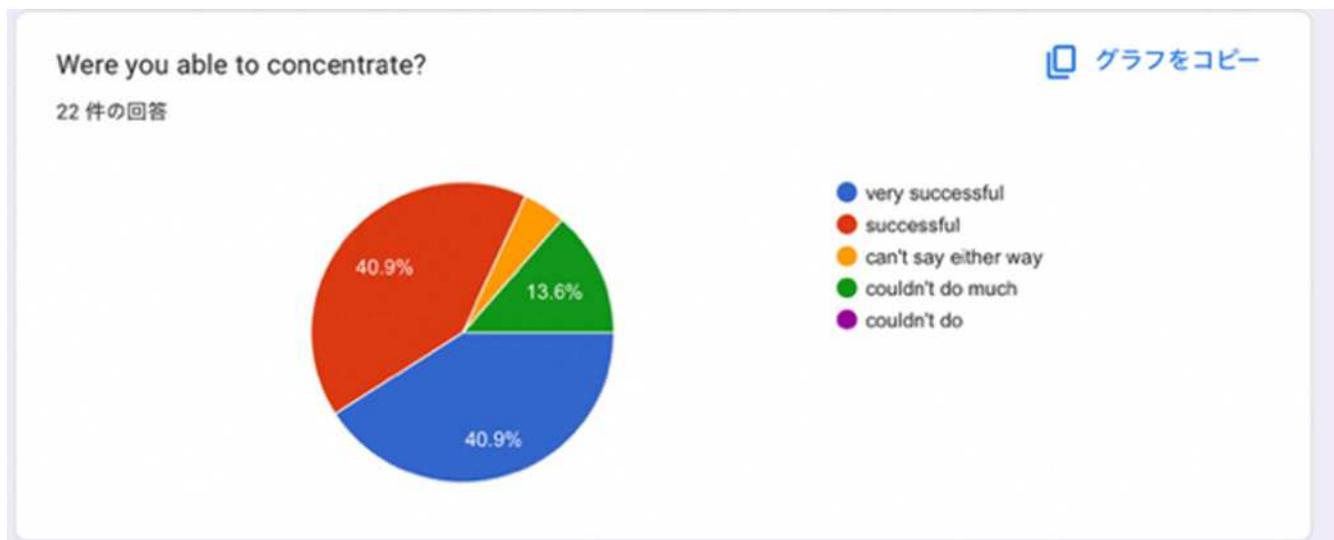
8月中旬ごろから公園(ラッセル・スクエア)にてストリートショー開催。通算5回開催。興味を持っていただいた方々にけん玉を体験してもらった。体験してもらった人は親子連れがほとんど。大抵は子供が興味を持ってくれたパターン。実施時間は1組あたり約20分～30分程度。「Great!」と褒めてくれた時は、自然に口が「Thank you!」と返していた。自分から話しかけて、けん玉の楽しさを紹介できた。同時に、自分から行動する難しさと大切さを感じた。

9月2日 St.Giles London 校にて課外活動としてけん玉体験会開催。15人が参加した。

実施時間は1時間。1人1人に進捗に対する個別指導を行った。もしかめによる参加者同士のミニ対決も実施。

また、体験者にはけん玉による効果を尋ねるアンケートを実施。

実際に想定していた効果が発揮されていたことが実証されていた。けん玉による運動、集中、コミュニケーション等。以下はけん玉体験会の様子、そしてアンケートの一部である。



● 留学後

これからはさらに多くの人にけん玉の魅力を伝え、アンケートのさらなる収集に勤めたい。また、けん玉が持つ可能性を内側からだけでなく様々な視点から考えていきたい。